

平成 27 年 1 月 30 日

同時記者発表

神奈川県、横浜市、

川崎市、 相模原市

四縣市共同「潜在保育士向けメッセージ」を発信しました！

現在、県内の保育所待機児童を減らすため、保育所の整備とともに、保育士の確保が急務となっています。

そこで、保育士資格をお持ちの方で、現在は保育士として働いていない、いわゆる「潜在保育士」の方々に対し、その経験を活かし保育現場で活躍していただくよう、県、横浜市、川崎市、相模原市の各首長の連名で復帰を呼びかけるメッセージ（別紙）を発信しましたのでお知らせします。

○ メッセージ作成の経過

平成 26 年 10 月 10 日（金）に開催された「第 40 回県・横浜・川崎・相模原四首長懇談会」において、「子育て支援の取組を一層強化することで、男女ともに活躍できる社会を実現するため、県内の潜在保育士向けメッセージを作成する」という横浜市の提案が合意され、四縣市共同で実施することとなったものです。

○ メッセージの活用方法

メッセージは、かながわ保育士・保育所支援センターに登録のある潜在保育士等に直接送付（メール、郵送）するほか、4 縣市それぞれのホームページへの掲載等により周知します。

（別紙）

四縣市首長共同メッセージ「保育士資格をお持ちの方、あなたの力を求めています！」

(別紙) 四縣市首長共同メッセージ

保育士資格をお持ちの方、あなたの力を求めています！

安心して子どもを生み、育てるためには、社会全体で子育てを支えることが大切です。

しかし現在、保育所の待機児童の問題が深刻化しており、このことはこれから子育てをする方や、現在子育て中の方にとって、とても不安な状況といえます。

全ての方に安心して子育てをしていただけるよう、県内では保育所の整備を急ピッチで進めています。いくら保育所が整備されても、保育を支える保育士がいなければ、保育所は子どもを受け入れることができません。

現在、神奈川県内の多くの保育所で保育士が不足していて、保育士の確保は、大きな課題となっています。

保育士資格をお持ちで、今は保育の現場を離れている皆さん、子育てをしている方を支えるために、ぜひその資格・能力を保育の現場で発揮してください。

社会的経験や家庭での子育ての経験を保育の現場に活かしてもらおうという意味でも、皆さんの力をとても頼りにしています。

それでも、実際に保育現場に復帰しようと考え、現場を離れたブランクが不安で、なかなか再就職に踏み出せないかもしれません。

神奈川県と横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市は、昨年4月から「かながわ保育士・保育所支援センター」を共同運営し、就職相談や求人情報とのマッチング、就職支援セミナー・相談会の開催など、皆さんが保育の現場にスムーズに復帰することができるよう、積極的にお手伝いをしています。

また、ブランクがあっても安心して復職できるように、復職前の実技研修などを実施しています。

保育士は、子どもたちの成長を感じながら自分も成長できる、とてもやりがいのある仕事であると同時に、社会から強く必要とされている仕事です。

神奈川県内で子育てをする方、神奈川県内の子どもたちのために、ぜひ皆さんの力を貸してください！

神奈川県知事 黒岩祐治

横浜市長 林 文子

川崎市長 福田 紀彦

相模原市長 加山俊夫